

第六十五條 第五十九條ニヨリ扶助ヲ受クルモノ療養開始後三年ヲ經過スルモ負傷又

ハ疾病ガ治癒セザル場合ニ於テ賃金ノ百七十日分以上ノ扶助料ヲ支給シタルトキハ

以後本章ノ扶助ヲナサルモノトス

第六十六條 第六十一條ニヨル扶助料ハ本社ノ賃金支拂日ニ於テ其都度之ヲ支給ス第

五十九條ノ規定ニヨリ費用ヲ本人ニ支給スル場合亦同ジ

第六十七條 第五十九條乃至第六十三條ノ扶助ノ事由發生シタルトキハ本人、其戸主

家族又ハ其代理人ハ直ニ之ヲ本社ニ通告スベシ

第六十八條 前條ノ場合ニ於テハ本人、其戸主及家族ハ本社ノ職員又ハ其所屬若クハ

指定ノ醫師ノ臨檢又ハ診斷治療ヲ拒ム事ヲ得ズ

第六十九條 遺族扶助料ヲ受クベキモノハ本人ノ配偶者トス

配偶者ナキ場合ニ於テ遺族扶助料ヲ受クベキモノハ本人死亡當時之ト同一ノ家ニ在

リタル其直系卑屬又ハ尊屬トシ其順位ハ親等ノ近キモノヲ先ニシ卑屬ト尊屬ト親等

相等トキハ卑屬ヲ先ニス

第七十條 前條第二項ニ定メタル同順位者ノ間ニ在リテハ其順位ハ左ノ規定ニヨル

一、家督相續人又ハ戸主ハ之ヲ他ノ者ヨリ先ニス

二、男ハ之ヲ女ヨリ先ニス

三、直系卑屬ニ付テハ男又ハ女ノ間ニ在リテハ嫡出子ヲ先ニシ嫡出子庶子及私生

子ノ間ニ在リテハ嫡出子及庶子ハ女ト雖モ之ヲ私生子ヨリ先ニス

四、前二號ニ掲グル事項ニ付相同ジキ者ノ間ニ在リテハ年長者ヲ先ニス

第七十一條 第六十九條ノ規定ニ該當スル者ナキ場合ニ於テハ本社ノ認定ニヨリ左ニ

掲グル者ノ内一人ニ遺族扶助料ヲ支給ス但シ本人ノ遺言又ハ本社ニ對シテ爲シタル

豫告ニヨリ左ニ掲グル者ノ中一人ヲ特定シタルトキハ之ニ依ルベシ

一、家督相續人又ハ戸主

二、兄弟姉妹ニシテ本人死亡當時之ト同一ノ家ニ在リタルモノ